

## ■ 展覧会案内

## テーマ展「ひとのかたち～ひなまつりを迎える前に～」

会期：平成30年1月8日（月・祝）～平成30年2月12日（月・祝）

## 《展覧会関連イベント》

## ■ 展示解説会 当日受付・要入館料

平成30年1月13日（土）14：30～15：30

## ■ 県博日曜講座 各回13：30～15：00 当日受付・聴講無料

①平成30年1月14日（日）「花巻人形の源流を探る～ひとがたから雛人形へ～」 講師：花巻市博物館長 高橋信雄 氏

花巻人形は江戸時代後半盛岡藩領花巻で誕生した郷土人形です。郷土人形の最高峰とも評される花巻人形の特徴とそのルーツをたどります。

②平成30年1月28日（日）「ひとのかたち～「ひとがた」と「にんぎょう」」 講師：当館学芸員

さまざまな形で暮らしに寄り添うお人形を紹介します。

## ■ ワークショップ「こけしの絵つけ」 幼児（要保護者付添い）～一般対象 予約制（先着順）・有料（1000円）

ろくろで挽いた木地（①こけしびな、②伝統こけし）のどちらかを選び、オリジナルのこけしを作ります。汚れてもよい服装でご参加ください。

日 時：平成30年1月20日（土）10：00～12：00

講 師：田山和文・和泉工人

（盛岡市・五葉社／昭和12年の創業以来、南部系こけしの伝統を継承しつつ、盛岡を題材とする木製玩具の作品を多数うみだしてきた工房です）

定 員：20名（こけしびな、伝統こけし各10名）

申込方法：平成30年1月4日（木）～1月19日（金）の開館時間、電話または博物館総合受付にて。

## ■ たいけん教室「おひなさまづくり」 幼児（要保護者付添い）～小学生対象 予約制（先着順）・有料（200円）

①平成30年2月18日（日） ②平成30年2月25日（日） 各回13：00～14：30

卵型を使って、おひなさまをつくります。詳細は8ページのインフォメーションをご覧ください。

ひとくちに「人形」といっても、その姿や性格は十人十色。本展では、さまざまな個性をもつ人形（ひとがた・にんぎょう）が、岩手に暮らす人々にどのような形で寄り添ってきたのか、民俗資料を中心に紹介いたします。ここでは、紙面の都合から出品予定の資料2点をピックアップしご案内いたします。

## ■ 一戸町高屋敷町内会の藁人形

一戸町の中心地から離れた山間部の高台に、かつては奥州街道沿いの村として賑わったと言われる40戸ほどの小さな集落（高屋敷・古屋敷・若子内）があります。ここでは平成17年に組織された町内会が主体となり、「結い」の精神に根ざしたさまざまな取り組みを行っています。「自分たちの手で地域の文化資源を調査し、伝承がとどえていた年中行事を行う」活動もそのひとつ。見事に復活を遂げたムシマツリ（虫祭り）やジンジョマツリ（人形祭り）は集落中から人々が集まる夏の定例行事となりました。

本展では、「今年は博物館用として控

えめに作った」という男女2体の藁人形を出品します。



【写真1】高屋敷町内会の皆さん  
ジンジョマツリにて（2017/8/27）

## ■ 紫波町・常光寺の「丑満画」

草木も眠る<sup>うしみ</sup>丑三つ時（丑満時）…怪談の出だしで使われる定型句です。この夜が深まる<sup>きがん</sup>丑三つ時は、昔から祈願や呪い<sup>まじな</sup>を行う時間帯と認識されていたようです。

「丑満画」と題する写真2の資料は、その様子を描いた絵と思われます。白装束を着て首から大きな鏡を垂れた女性。頭には3本の口ウソクを立てた鉄輪<sup>かなわ</sup>をかぶり、右手に釘、左手に藁人形を握りしめています。この女性の秘めた願いはどのようなものなのでしょう。



【写真2】丑満画（掛幅／紙本着色）  
紫波町・常光寺 蔵

（学芸第三課 川向富貴子）